

# 北陸圏

北陸発

Vol.21

## 「あっ!」とホ～ム

家づくりと住まいを探る



新潟営業所の社屋。コンセプトはアナザーロケット

# 千人鮮色の家づくり

### お客様の一色を

「十人十色、千人千色の想いを、住まいというかたちで鮮やかに表現したい」。高田建築事務所

のロゴマークにはこのよう  
な意思が込められている。「千色  
の色も鮮やかでなくては」と八  
幡和弘新潟本部長は続ける。「お  
客様の一人ひとりが全く違う個  
性、色を持っているが、私たち  
がイエスマンではそれを引き出  
すことはできない」と対話の重  
要性を説く。同社では施主の想  
いを引き出し、一つのコンセプ  
トに縛られることのない、個  
性あふれる鮮(千)色の住ま  
いづくりを目指し、さまざま  
なアプローチを試みる。

施主が家づくりへの想いを  
つづる「放題紙」(ほったい  
し)がその一つだ。予算は気  
にせず「想いたい、言いたい、  
書きたい」放題につづり、家  
を模した小さな箱に入れても  
らうことで、その想いをくみ  
取る。放題紙からは、「家の

中にブランコが欲しい」、「ガ  
レージの下を光らせたい」とい  
った、普段の打ち合わせではな  
んとなく言いそびれてしまうよ  
うな声が聞こえてくるという。  
「家を創る、ということは一  
軒一軒違う家ができていくこ  
と。取手、床材の一つ一つから  
探しながら創る。私たちよりも  
お客様がよく知ってることも」  
と語る表情は真剣そのもの。

「良い建物は良い味が出て、い  
つの時代でも生きていく。私た  
ちはアフターメンテナンスも考  
えて家づくりに取り組む。5年



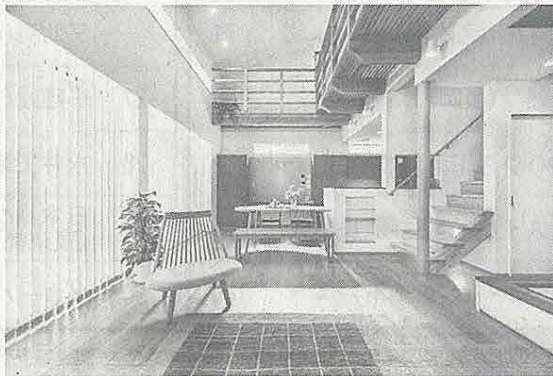
八幡和弘新潟本部長

## 高田建築事務所新潟営業所(新潟市)

後、10年後に訪問し  
ても、引き渡しのと  
きよりも味わい深く  
なっている」と胸を  
張りつつも、「高  
田建築事務所の家」  
を創ってはいけな  
い。あくまでも「お  
客様の家を創る」  
と千色の中の一色を  
引き出すことに注力する。

### 間知(まち)づくり

同社では、以前から街づくり  
にも取り組んでいる。本社の所  
在する長岡市摂田屋には、同社  
が企画・分譲を手がけた住宅団  
地がある。自然、歴史、人々と  
の共生をテーマに、水が流れ樹  
木から温かな自然の温もりを感  
じるまち、「リプチの森」だ。  
「ある程度まとまった土地があ



おおきなやねがつなぐいえ コネクションルーフ

れば、私たちが購入して開発す  
る。テーマに賛同する人に家を  
建ててもらい、間知(まち)を形  
成していく。大変な手間は、  
と聞くと「生産性を向上させて  
いくだけでは面白くない」と笑  
顔。テーマに沿ったコミュニテ  
ィを形成するメリットは、子ど  
もたちが楽しく遊べて、どの  
家にも顔を出せること。隣人同  
士のつながりも希薄になりがち  
な時代に一石を投じていく。

### トピックス

76年創業。本社は新潟県長岡市。  
高田清之介代表取締役社長。果は形、  
舞は想いをテーマに個性あふれる巢舞(すまい)＝住まいつ  
くりを続ける。